

法隆寺界隈探訪ご案内

2024. 10. 18

企画委員会

朝夕、めっきり涼しくなり秋空が広がる爽やかな季節となりました。法隆寺界隈も稲穂が実り、コスモスも咲き秋たけなわです。

今回は2回目となります企画委員による自主ガイドを「法隆寺界隈探訪」といたしました。今年、法隆寺が世界文化遺産に登録されて31年目。

法隆寺を中心に法起寺・法輪寺の三ヶ寺、中宮寺跡、三井の井戸、斑鳩神社などを巡ります。

又、法隆寺夢殿の秘仏中の秘仏とされている「救世観音像」の特別開扉の期間中により拝観を予定しています。みなさんと一緒に秋の斑鳩の里散策を楽しみたいと思います。ご参加お待ちしております。



記

実施日：2024年10月25日（金）

集合場所：JR王寺駅2階中央改札口（企画委員がバス停までご案内いたします。）

集合時間：1.2班 9時40分（9時50分発のバスに乗ります。）

3.4班 10時（10時10分発のバスに乗ります。）

コース：JR王寺駅→法隆寺→夢殿→中宮寺→中宮寺跡史跡公園（1.2班 12:10頃 3.4班 12:30頃・昼食&トイレ休憩）→法起寺→法輪寺→三井の井戸→斑鳩神社→法隆寺iセンター（解散）

※全行程7km弱・途中27段の階段は、ありますが、あとは、平たんな道です。

解散：班別に解散。14:40～15:00

法隆寺iセンターから、法隆寺駅行

道路を渡って王寺駅行きのバスがあります。もちろん徒歩で法隆寺駅にも帰れます。

雨天時の対応：前日17時の気象庁ホームページの天気予報で、奈良北部 6:00～18:00 の降水確率が50%以上で中止。

持ち物：弁当、飲料、雨具、敷物、各自必要なもの、
（救世観音拝観料は科負担）

歴史散策の主な寺院

法隆寺：607年、用明天皇の願いを受け継ぎ推古天皇と聖徳太子が建立。世界最古の木造建築物として、日本最初の世界文化遺産に登録される。

国宝は39件

国宝の中門➡



中宮寺：大和尼三門跡寺院の一つ。本尊は如意輪観音。

現存で日本最古の刺繍「天寿国繡帳」（天寿国曼荼羅、国宝）を所蔵。

中宮寺跡史跡公園：聖徳太子が母の穴穂部間人皇后の為に建立したと伝えられている。

法隆寺東院伽藍の東側にある中宮寺が最初に建てられた場所。三塔を見ることができる。

1936年から1996年まで発掘調査が行われ金堂跡と、塔跡は、確認された。

法起寺：太子が法華経を講じた「岡本宮」を太子の遺言により、その子山背大兄皇子が寺に改めたもの。三重塔は706年に完成したとされ、高さ24mの塔は、最古のもの。

法輪寺：創建については、①622年山背大兄王とその子が太子の病氣平癒を祈るために建てた、②法隆寺焼失後に百済の開法師他3人が建てたとの2説がある。

法起寺とともに斑鳩三塔と呼ばれているが、創建当時の三重塔は、落雷により焼失。現在の塔は➡作家 幸田文氏らの尽力により1975年に再建されたもの。



講堂の本尊は十一面観音立像で高さが5m近い一本彫り。

三井の井戸：聖徳太子がわが子の産湯を使うために三つの井戸を掘ったと言われその中の現存する唯一の井戸「赤染井」と呼ばれる。

古代朝鮮と同じ形式で技術上貴重なもので、現在も水をたたえている。

今回は、どの仏様にお会いできるのでしょうか。

